

# 農業関係・林野関係の復旧復興に向けた取組と今後の見通し 農林水産省

- 奥能登地域の水田の営農再開面積は令和5年水稻作付面積の約8割。これまで、MAFF-SATをフル活用し、応急復旧等を全力で支援。個人の機械等の復旧に当たっては、関係県や市町村と協力し、農業者の負担を大幅に軽減。また、農地・農業用施設、治山・林道施設等について、順次、本復旧工事に着手。今後も、現地にMAFF-SATを配置し、本復旧に当たっての技術的支援等を継続。
- 石川県内で被災した製材工場、きのこ生産施設等の約7割で営業再開。引き続き、奥能登地域の被災林業者の雇用への支援や、木材加工流通施設等の再整備への支援を実施。

## 営農再開への支援

奥能登地域の水田の営農再開面積は令和5年水稻作付面積の約8割

※石川県の中能登以南は概ね例年どおりの作付け

- ・ MAFF-SATを現地に派遣（延べ11,000名以上。奥能登関係市町は常時巡回支援）し、**農地や水路、ため池等の応急復旧等を全力で支援**。
- ・ 要望の多い個人の機械、ハウス、畜舎等の復旧に当たっては、被災地域の関係県や市町村と協力し、**農業者の負担を大幅に軽減**。

### 【機械、ハウス、畜舎等の復旧に係る支援策（石川県の例）】

[ 補助率：国5/10+県2/10+市町2/10 ]

国	県	市町	農家
5/10	2/10	2/10	1/10

- ・ 米の**乾燥調製施設**の応急復旧は**収穫期前までに完了し、稼働開始**。
- ・ 国・県・JAが連携して設置した**相談窓口**（石川県下のJA等）に、MAFF-SATを配置し、営農再開のための**伴走支援**を実施（相談件数4,000件以上）。

### <奥能登地域での米の収穫>

- ・ 乾燥調製施設の応急復旧が完了し、収穫された米の受け入れを開始。



応急復旧した乾燥調製施設



米の収穫（輪島市）

### <白米千枚田での米の収穫>

- ・ 白米千枚田では、棚田のオーナーや地元の高校生などによる収穫を実施。



収穫状況（白米千枚田）

### <「能登野菜」の営農再開状況（奥能登地域）>

かぼちゃやブロッコリーなどの能登野菜については、春作では前年比約5割であった作付けが、秋作では**前年比約8割**の作付けを実施。



ブロッコリーの作付状況（珠洲市）

## 農地・農業用施設、治山・林道施設等の本復旧

- ・ **農地・農業用施設等**は、**災害査定の簡素化・効率化**を図り、順次、本復旧工事に着手し、**令和8年度の工事完了**を目指す。
- ・ **農地海岸の直轄代行工事**は**応急工事が完了**。被災した護岸等の調査・設計を実施中。今後、本復旧工事に着手し、**令和8年度の工事完了**を目指す。
- ・ **治山・林道施設等**は、**災害査定の簡素化・効率化**を図り、順次、本復旧工事に着手。**大規模な山腹崩壊地**については、災害復旧に引き続き、**本復旧を民有林直轄治山事業により開始**。



災害査定の簡素化・効率化（机上査定の実施（輪島市））



被災した水路の復旧（内灘町）



大型土のう設置（山腹崩壊の応急工事）（輪島市）

## 林業・木材産業再開への支援

被災した製材工場、きのこ生産施設等の約7割（石川県内）で営業再開

- ・ 被災した**製材工場、きのこ生産施設**など木材加工流通施設等の再整備を支援。被災**59施設のうち44施設（約7割）**で営業再開。
- ・ 奥能登地域の被災林業者を一時的に雇用する**金沢森林組合**等に対して、「**緑の雇用**」制度を活用し支援。



製材工場の稼働再開（輪島市）



木材製品倉庫の復旧（輪島市）



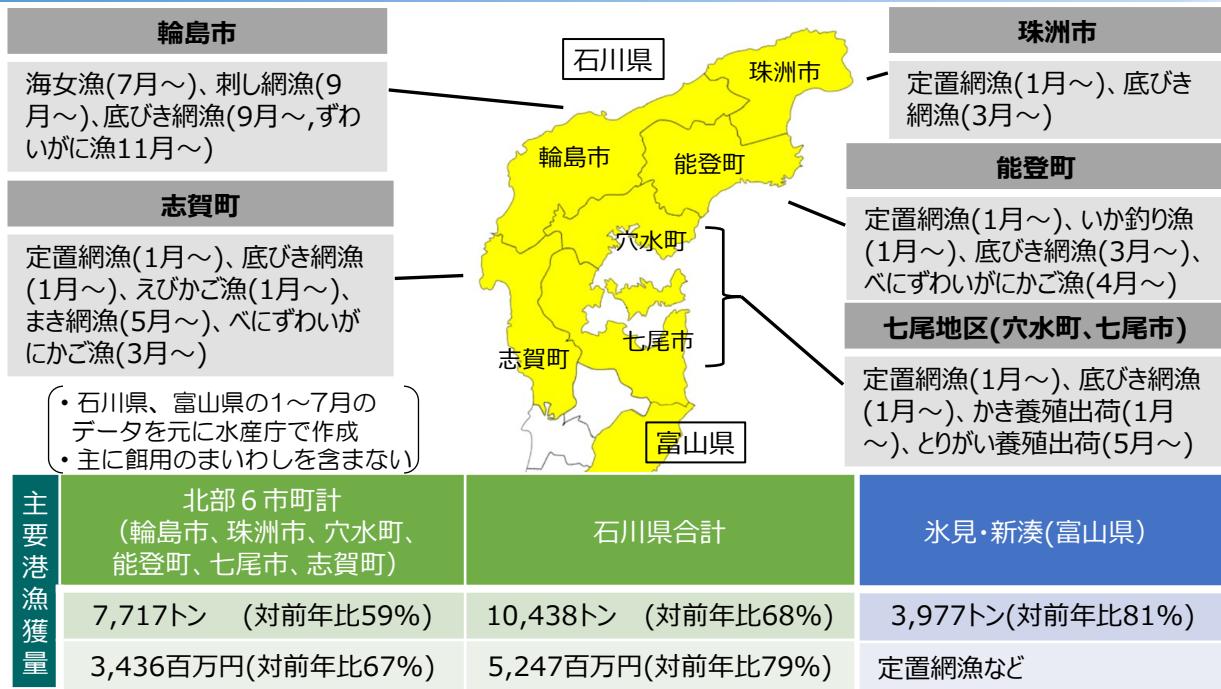
きのこ生産施設の再開（能登町）



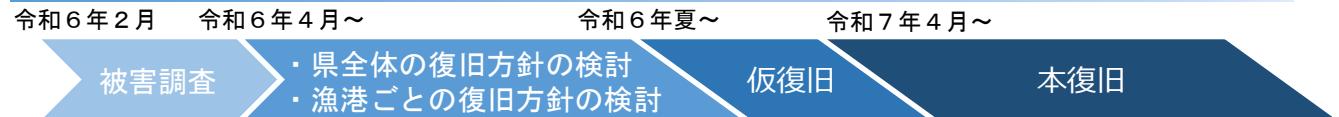
# 漁業再開・漁港の復旧復興に向けた取組と今後の見通し

- 石川県の北部6市町については、漁獲金額で対前年比7割（漁獲量で6割）に回復。輪島地区では、7月から海女漁を試験的に再開し、9月中に刺し網漁、底びき網漁を再開予定。11月6日に解禁される底びき網によるずわいがに漁の本格的な操業を行い、輪島地区を含む北部6市町における秋冬シーズンの操業体制について震災前と同水準を目指す（R4年度秋冬シーズン漁獲金額 約40億円）。
- 漁港の復旧については、地盤隆起のない地域では、応急工事によりほぼすべての漁港で陸揚が可能。地盤隆起が顕著な輪島市、珠洲市の16漁港のうち、漁業の再開を優先する10漁港中7漁港の仮復旧工事に着手済み。9月中に工事完了予定。

## 1. 漁業再開の状況（漁港の仮復旧の進展等により順次再開）



## 2. 地盤隆起等甚大な被害を受けた漁港への対応



### <漁港の復旧に向けて>

- ・ 国（水産庁）は、有識者による「能登半島地震漁業地域復旧・復興技術検討会」を設置し、①漁港施設の被害状況、被災パターンの分析、②被災パターンに応じた復旧方法・手順等について検討し、石川県が設置した「能登の水産関係港の復興に向けた協議会（復興協議会）」に提供。
- ・ 復興協議会では、7月10日に復興方針（骨子）を公表し、8月30日に復興方針を決定。
- ・ 地盤隆起等による甚大な被害が発生した外浦地域の16漁港のうち、漁業者との調整等により10漁港を優先的に機能回復を図る漁港とし、うち7漁港は既に仮復旧工事に着手し、9月中に工事完了予定。引き続き、令和6年度後半～7年度にかけて、本復旧工事に着手。
- ・ 地盤隆起のない漁港については、仮復旧工事等により、漁業再開に必要な陸揚げがほぼ可能。今後、順次本復旧工事に着手し、着工後概ね3年間（令和9年度まで）で復旧工事の完了を目指す。

## 3. 現地支援の状況と今後の予定

### ○漁港・海岸の直轄代行工事

- ・ 狼煙漁港は、一部泊地の浚渫工事を完了し、避難機能を一部回復。9月中旬から部分的に避難利用を開始予定。引き続き、令和8年度までの復旧完了を目指す。
- ・ 鶴飼漁港海岸は、珠洲市の復興まちづくりとも連携し、工事の実施に向けた現地調査等を10月から実施予定。



狼煙漁港における浚渫工事（珠洲市、8月）

### ○早期の漁業再開に向けた支援

- ・ 被災した漁船・漁具の復旧のため、漁業協同組合等が行う漁船等の導入の取組を支援。
- ・ 被災した漁港の復興のため、災害復旧と連携した漁港施設の機能回復・強化対策等を支援。

### ○漁業者による漁場環境調査等の取組支援

- ・ 石川県の輪島市、七尾市等では漁業者の生活を支えつつ、漁場環境回復のための活動や操業再開によって明らかとなった課題（もずく漁場への土砂の流入（9月調査予定）等）に対する漁場環境調査等を支援。（関係漁協15支所のうち、8支所において実施。）

### ○現地支援拠点を通じた対応等

- ・ 水産庁職員の活動拠点として4月に穴水町に設置した現地支援拠点を活用して、漁協支所等を訪問し、被災漁業者への支援策説明、県や漁協等との密接な連絡調整等を継続。
- ・ 漁港の災害復旧の早期実施に向けて、災害査定の準備等を行う地方公共団体の漁港技術職員を石川県、富山県、輪島市等へ派遣するなど人的支援を継続。

## 輪島地区の漁業再開に向けた取り組み

- 輪島地区において、給油施設、製氷・貯氷施設、荷さばき施設、冷凍冷蔵施設等の各復旧対策を急ぐ。
- 主力漁業の底びき網によるずわいがに漁（11月～3月）について、震災前と同水準での操業体制を目指す（R4年度秋冬シーズン漁獲金額 約5億円(底びき網漁)）。

### ◆漁業再開スケジュール

漁業種類	スケジュール
海女漁（もずく、さざえ等）	7月からもずく漁の試験的再開、さざえ漁の再開に向け漁場調査を実施中
刺し網漁（あまだい、まだら等）	9月から再開の予定※
底びき網漁（ずわいがに、あかがれい等）	9月から再開、11月から本格再開の予定※

※操業方法等について、漁業者間で調整中

### ●輪島港の共同利用施設の復旧工程

施設名	内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月以降
給油施設	タンクローリー対応	■	■	■	■	■	■	■
	既設タンク復旧工事		■	■	■	■	■	■
	仮設タンク設置工事		■	■	■	■	■	■
製氷・貯氷施設	5月から一部再開	■	■	■	■	■	■	■
	他港からの移設		■	■	■	■	■	■
荷さばき施設	7月から一部再開	■	■	■	■	■	■	■
	損傷箇所復旧工事		■	■	■	■	■	■
冷凍冷蔵施設	4月から再開	■	■	■	■	■	■	■